

令和2年4月1日  
東京都新型コロナウイルス感染症対策本部

## 新型コロナウイルスに関連した患者の発生について

都内の医療機関から、今般の新型コロナウイルスに関連した感染症の症例が報告されましたので、別紙のとおり、お知らせします。

### 【問い合わせ先】

(患者発生に関すること)

福祉保健局健康安全部感染症対策課 吉田・阿部  
電話 03-5320-4480・4482  
内線 34-310・322

(新型コロナウイルスに関する一般相談)

東京都福祉保健局健康安全部  
新型コロナウイルス感染症に関する電話相談窓口  
電話 0570-550571  
受付時間 午前9時から午後9時まで  
(土、日、祝日を含む)

## 【都民の皆様へ】

- 都民の皆様におかれましては、風邪や季節性インフルエンザと同様に咳エチケットや手洗いなどの実施がとても重要です。感染症対策に努めていただくようお願いいたします。
  - 次の症状がある方は「新型コロナ受診相談窓口（帰国者・接触者電話相談センター）」にご相談ください。
    - ・ 風邪の症状や 37.5℃以上の発熱が 4 日以上続いている。  
（解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます）
    - ・ 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある。
- ※ 高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が 2 日程度続く場合
- 新型コロナ受診相談窓口でご相談の結果、新型コロナウイルス感染の疑いのある場合には、専門の「新型コロナ外来（帰国者・接触者外来）」をご紹介しています。マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて受診してください。

なお、現時点では新型コロナウイルス感染症以外の病気の方が圧倒的に多い状況であり、インフルエンザ等の心配があるときには、通常と同様に、かかりつけ医等に御相談ください。

### 【相談後、医療機関にかかる時のお願い】

- 新型コロナ受診相談窓口（帰国者・接触者電話相談センター）から受診を勧められた医療機関を受診してください。複数の医療機関を受診することはお控えください。
- 医療機関を受診する際にはマスクを着用するほか、手洗いや咳エチケット（咳やくしゃみをする際に、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえる）の徹底をお願いします。

### 【相談窓口について】

東京都における相談窓口については、こちらを御参照下さい。

「新型コロナウイルス感染症にかかる相談窓口について」（東京都）

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/iryo/kansen/coronasodan.html>

### （参考）

- ・ 「新型コロナウイルス感染症について」（厚生労働省）  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)
- ・ 「新型コロナウイルス感染症対策サイト」（東京都）  
<https://stopcovid19.metro.tokyo.lg.jp/>
- ・ 「新型コロナウイルス感染症に関する情報」（東京都感染症情報センター）  
<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/2019-ncov/>

都内コロナウイルス陽性患者 報道数（4月1日18時30分現在）

都内感染者数（東京都発表） 本日判明分：66名 総数：587名

No.	リリース日	居住地	年代	性別	属性（職業等）	渡航歴	接触歴	備考	重症
522	4月1日（水）		40代	男性					
523	4月1日（水）		60代	男性					
524	4月1日（水）		40代	男性					
525	4月1日（水）		20代	男性					
526	4月1日（水）		30代	男性					
527	4月1日（水）		20代	男性					
528	4月1日（水）		20代	男性					
529	4月1日（水）		40代	男性					
530	4月1日（水）		30代	男性					
531	4月1日（水）		30代	男性					
532	4月1日（水）		50代	女性					
533	4月1日（水）		20代	女性					
534	4月1日（水）		40代	男性					
535	4月1日（水）		40代	男性					
536	4月1日（水）		30代	男性					
537	4月1日（水）		60代	女性					
538	4月1日（水）		30代	男性					
539	4月1日（水）		40代	男性					
540	4月1日（水）		30代	男性					
541	4月1日（水）		70代	女性					
542	4月1日（水）		20代	女性					
543	4月1日（水）		30代	男性					
544	4月1日（水）		40代	女性					
545	4月1日（水）		60代	女性					
546	4月1日（水）		50代	女性					
547	4月1日（水）		50代	男性					
548	4月1日（水）		40代	男性					
549	4月1日（水）		10代	男性					
550	4月1日（水）		30代	男性					
551	4月1日（水）		70代	男性					
552	4月1日（水）		50代	女性					
553	4月1日（水）		30代	男性					
554	4月1日（水）		30代	男性					
555	4月1日（水）		20代	女性					
556	4月1日（水）		60代	女性					
557	4月1日（水）		60代	男性					
558	4月1日（水）		40代	男性					
559	4月1日（水）		50代	男性					
560	4月1日（水）		40代	女性					
561	4月1日（水）		20代	男性					
562	4月1日（水）		20代	男性					
563	4月1日（水）		50代	女性					
564	4月1日（水）		40代	男性					
565	4月1日（水）		30代	男性					
566	4月1日（水）		30代	男性					
567	4月1日（水）		50代	男性					
568	4月1日（水）		40代	男性					
569	4月1日（水）		40代	男性					
570	4月1日（水）		30代	男性					
571	4月1日（水）		20代	男性					
572	4月1日（水）		60代	男性					
573	4月1日（水）		60代	男性					
574	4月1日（水）		30代	男性					
575	4月1日（水）		20代	男性					
576	4月1日（水）		50代	男性					
577	4月1日（水）		40代	男性					
578	4月1日（水）		50代	女性					
579	4月1日（水）		50代	男性					
580	4月1日（水）		30代	男性					
581	4月1日（水）		40代	女性					
582	4月1日（水）		60代	女性					
583	4月1日（水）		40代	男性					
584	4月1日（水）		40代	女性					
585	4月1日（水）		50代	男性					
586	4月1日（水）		40代	男性					
587	4月1日（水）		30代	男性					

居住地、属性、渡航歴、接触歴等は、  
現在、調査中です。

別紙

◆令和2年4月1日 18時30分時点

◆速報値のため、今後の調査状況により、変動の可能性があります。

1 患者の発生状況

総数	(内訳)			うち重症者
	濃厚接触者※1	海外渡航歴	調査中	
66	23	5	38	1

※1 濃厚接触者：確定患者との接触歴があるもの

\*2つの欄に該当する場合があるため、内訳と総数が一致しない場合がある。

<属性>

○年代

10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100歳以上	不明
0	1	10	16	18	11	8	2	0	0	0	0

○性別

男性	女性	不明
49	17	0

2 都内患者数（累計）

総数	重症者	退院
587	17	56

【参考】区市町村別患者数（都内発生分）（3月31日時点の累計値）

千代田	中央	港	新宿	文京	台東	墨田	江東	品川	目黒	大田
3	19	39	22	4	15	5	10	24	21	15
世田谷	渋谷	中野	杉並	豊島	北	荒川	板橋	練馬	足立	葛飾
44	18	15	28	9	4	2	4	20	8	6
江戸川	八王子	立川	武蔵野	三鷹	青梅	府中	昭島	調布	町田	小金井
8	4	0	3	7	1	1	0	1	6	1
小平	日野	東村山	国分寺	国立	福生	狛江	東大和	清瀬	東久留米	武蔵村山
1	3	0	0	0	0	0	1	0	1	0
多摩	稲城	羽村	あきる野	西東京	瑞穂	日の出	檜原	奥多摩	大島	利島
0	1	3	0	8	0	0	0	0	0	0
新島	神津島	三宅	御蔵島	八丈	青ヶ島	小笠原	都外	調査中※		
0	0	0	0	0	0	0	20	116		

※永寿総合病院関連106を含む

西岡 真一郎 市長様  
大熊 雅士 教育長様

新型コロナウイルス感染症の感染防止と支援体制の強化を求める申し入れ

2020年 4月 1日  
日本共産党小金井市議団  
水上 ひろし  
たゆ 久貴  
板倉 真也

新型コロナウイルス感染が広がり、国民の生命とともに、くらしや営業が脅かされる状況になっています。首都東京は「重要な局面」とされ、不安が広がっています。

日本共産党は、この間市民から聞き取りを行ってきました。さまざまな声が寄せられ、中には対応が求められていることもあります。

国や東京都は国民・都民に対し、外出やイベント自粛を要請していますが、市内事業所でも「100万円単位で収入が減った」など苦境に立たされている声が寄せられています。実効ある感染拡大の防止と、その影響を受ける事業者や国民・都民への経済支援は一体であるべきと考えます。

そうした立場から、下記の点を要請します。

記

1. フリーランス、中小・小規模個人事業主、生活困窮者への「給付金制度」が表明されたが、規模と中身について影響を受けた事業者・個人を全面的に支援するものとするよう国に要請すること。また、東京都において上乘せの助成金を行うよう要請すること。イベント自粛などに伴う事業者等についても損失補填を行うことを明確にするよう国に要望すること。
2. 高齢・障害・児童の福祉施設において、利用者の人数の変動があった場合でも、運営に必要な財政を維持できるよう、国や東京都に支援を求めること。市も独自の助成を検討すること。
3. 市内で感染者が発生した場合、情報の発表は、人権と風評被害に最大限配慮しながら、感染拡大防止に役立つかどうかという観点から関係者と連携して対応すること。
4. インターネットを活用できず、市ホームページを見られない方から「相談窓口を教えてほしい」などの問合せがきている。「市報臨時特別号」を発行して、各種の相談窓口や税や保険料、貸出、融資などの対応策を市民に知らせる手立てを講じること。
5. 市民が発熱したときに、感染しているかどうか不安になっている。小規模な診療所で対応するためには、一般患者との区別が必要だが、そうしたスペースがなく対応できないケースもある。小金井市として、臨時の発熱外来センターまたは、相談窓口を設置し、患者と診療所等の心配に応える相談体制をつくること。
6. 小中学校の開校について、文部科学省のガイドラインなどに基づいて、自主的に判断すること。

その際、消毒やマスク、非接触体温計など必要な衛生資材の支援を行うこと。

7. 小中学校の一斉休校による学校給食食材について、野菜だけでなく牛乳や肉などの搬入業者の調査を行い、影響がある場合について支援を行うこと。
8. 新型コロナウイルス感染の影響で、収入が激減した事業所の実態調査を行うこと。
9. 事業所の倒産や首切りで失業し、収入が入らなくなった市民への支援体制を強化すること。とりわけ、相談窓口を早急に設置し、関係機関につなげきる体制をつくること。
10. 小金井市の融資制度について、無利子にすること。
11. 国の生活福祉資金の特例貸付制度が、社会福祉協議会で3月25日から始まっている。市報、ホームページ、公営掲示板などでPRすること。
12. 生活が大変になった市民を救済するために、市税、国保税、介護保険料の減免基準を緩和すること。また、徴収猶予や換価の猶予、滞納処分の執行停止、差し押さえの解除などについて、実情に応じて適切・丁寧に対応すること。
13. 自営業やフリーランスが多く加入する国保税について、2020年度の増税は中止すること。今後の増税計画は白紙にすること。
14. 市民の命と生業を守るため、必要な財政措置をただちに具体化すること。補正予算の編成や予備費の活用など積極的な対応を行うこと。

以上